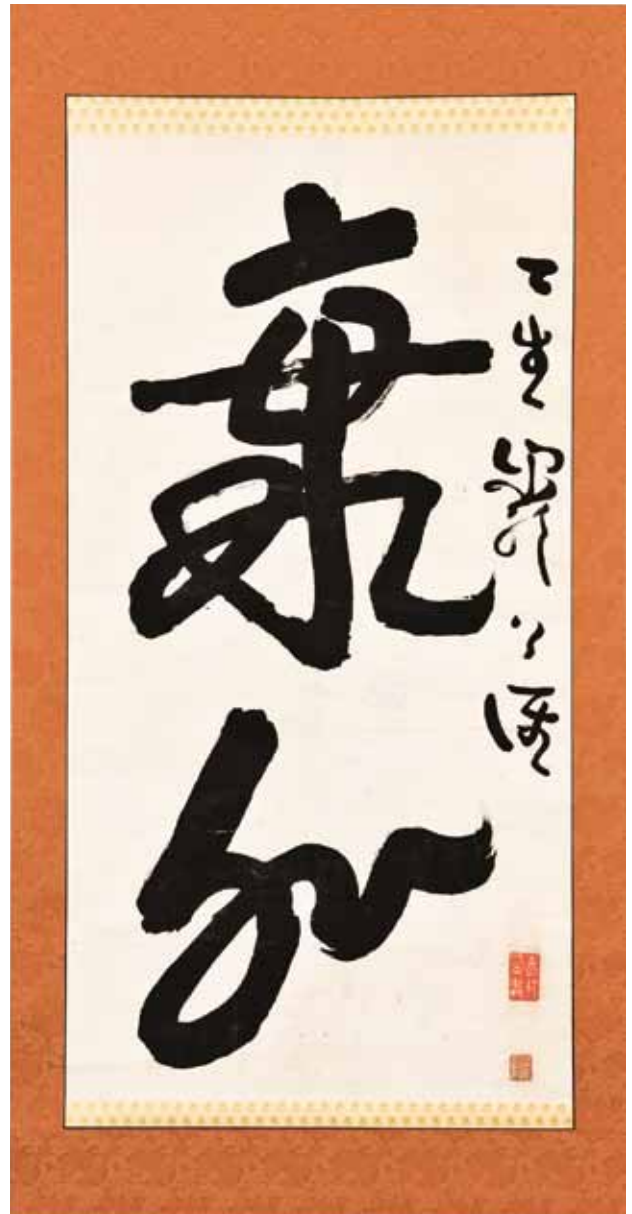


おぎが市議会だより

2016.2月号
Ogi city



表紙 かいがいひこうつゆく 海外飛香対幅 (中林梧竹) 明治41 (1908) 年

ニュース／12月議会

- 年頭のあいさつ P 2
- 平成27年度一般会計・特別会計補正予算、予算のなかみ、主な事業、主な議案等 P 3～4
- 会議結果、議案等の賛否 P 5
- 常任委員会報告 P 6
- 一般質問 P 7～14
- 視察研修報告 P 15～16
- 行政視察 (受入) 一覧、議員活動あれこれ、お知らせ、表紙の紹介 P 17
- 地域の学び舎 P 18



年頭のあいさつ

小城市議会 議長 中島 正之

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は小城市合併10周年を迎え、3月にはドゥイニング三日月において記念式典が執り行われ、4月には旧4町の合同町人会が東京都新宿のホテルで開催されました。

また、国政に目を向けますと、安全保障関連法案の成立やTPP（環太平洋パートナーシップ）協定交渉の大筋合意といった大きな転換期を迎えた年でありました。

さて、小城市におきましては、人口減少・超高齢化という危機的な現実を直視し、国が打ち出した地方創生にならない、地方が成長する活力を取り戻し、人口減少を克服するために、小城市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。私たち小城市議会としまして、このことを喫緊の課題ととらえ強力に後押しを進めているところです。

小城市議会は二元代表制の一翼として、小城市民の総意を市政に反映させる重要な役割を担っております。今後も、本市のさらなる発展と市民の皆様が安心して健やかに暮らせるまちづくりに向け、全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、実り多き一年となりますことを心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成27年度 一般会計・特別会計補正予算を承認

主な歳入としては、ふるさと納税寄付金、繰入金、国県支出金、市税、財産収入などが増加し、市債は減少している。主な歳出としては、ふるさと納税の返礼品等、介護給付費・訓練等給付費支給事業、農地中間管理事業の協力金、子どものための教育給付事業、地方債の^{*}繰上償還に要する費用などである。

^{*}繰上償還…地方債（借金）の償還（返済）について、当初の償還期限到来前に、その全部、または一部を繰り上げて償還すること。

平成27年度 12月補正予算の状況

一般会計・特別会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	207億7,688万円	811万円 増 (第4号)	215億795万円
		4億8,310万円 増 (第5号)	
		2億3,985万円 増 (第6号)	
特別会計	98億7,397万円	194万円 減	98億7,203万円
下水道特別会計	29億4,290万円	194万円 減	29億4,095万円

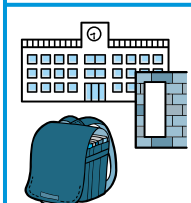
< 補正の主なもの >

事業名	補正予算額	事業名	補正予算額
ふるさと納税推進事業	2億3,985万円 増	地域農業水利施設ストックマネジメント事業	117万円 増
農地中間管理事業	5,106万円 増	市道住ノ江・社搦線改良事業	1,000万円 減
子どものための教育給付事業	4,235万円 増	市道小城公園・本告線歩道設置事業	740万円 減
農業排水施設維持管理事業	811万円 増	農業集落排水施設機能強化対策事業	322万円 減
農地及び農業用施設災害復旧事業	250万円 増		

4,235万円

市内園児が通う私立幼稚園・認定こども園への給付事業

教育・文化・福祉



平成27年度の寄附総額を13億7,000万円に上方修正したことによる、返礼品、広告費などの経費増。

問 寄附金額のうち、返礼品など経費の占める割合は、
答 約54%である。

2億3,985万円

ふるさと納税推進事業

総務・市民

主な事業



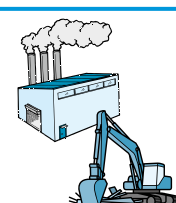
農地中間管理機構を通じて担い手への農用地等の集積・集約化に協力する者に対し、機構集積協力金を交付することにより、農業経営の規模の拡大、農用地等の集団化、新たに農業経営を営もうとする者の参入を進め、農用地の利用の効率化及び高度化を促進する。

補正の内容は、集落営

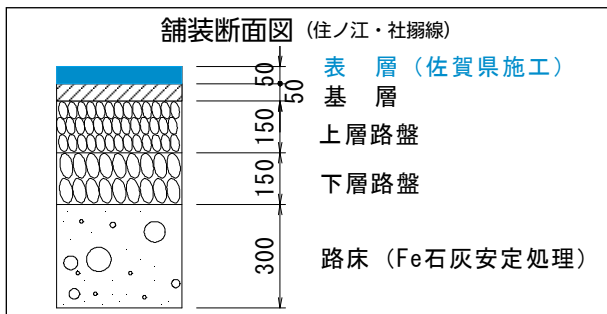
5,106万円

農地中間管理事業

産業・建設



平成27年4月から施行された子ども・子育て支援法に則り、県の私学助成制度で行われていた認定こども園（幼稚園部分）、幼稚園等への財政支援の仕組みから、市の施設型給付として支援する。



計画していた舗装工事の一部と区画線等の道路表示を佐賀県の事業で施工するため。

1,000万円減

市道住ノ江・社搦線改良事業

農法人化に伴うものと経営転換協力金である。（農地中間管理機構とは、公的機関である県公社が間に立って、農用地の貸借を進める機関。）

市道小城公園・本台線
歩道設置事業

740万円減

歩道設置に伴う車道の舗装施工延長を150m減。

農業排水施設維持管理事業

811万円

補正予算第4号として小城町三里地区のポンプ補修工事費用を先決処分として執行。



主な議案

放課後児童健全育成事業について

(議案第92号)

「設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正」

現在、小学3年生までに限っている放課後児童クラブの受け入れを、平成28年度から小学生全体に拡大する。ただし、28

年度は4、5年生を受け入れ、6年生は29年度から受け入れる予定。

(議案第93号)

「利用者負担金徴収条例の一部を改正」

平成28年4月1日から平日6時以降、土曜日、長期休業日の料金を改正する。(別表第1・2参照)

現行

別表第2

区分	全期間	日額
春季休業日	8,000円	300円
夏季休業日		300円
冬季休業日		300円
学年末休業日		300円
上記以外の休業日		300円
上記以外の日		200円

別表第1

区分	負担金額(月額)
4月～3月	3,000円 (ただし8月は6,000円)



改正後

別表第2

利用区分	負担金額
春季休業日の期間	1,500円
夏季休業日の期間	10,000円
冬季休業日の期間	2,000円
学年末休業日の期間	1,500円
上記以外で特に必要と認める日	日額300円

別表第1

利用区分	負担金額(月額)
平日	3,000円 (ただし8月は6,000円)
土曜日	1,500円
午後6時以降の利用	1,500円

(議案第97号)

「小城市敬老祝金支給条例の一部を改正」

現在、9月1日に80歳、88歳、100歳以上の方に対して祝金が支給されているが、当該年度の3月31日までに80歳、88歳、100歳に達する方に祝金を支給する。これまでに100歳以上の方には毎年3万円支給されていたが、100歳になられた時に5万円支給される節目支給となる。

文教厚生常任委員会での討論

反対討論

101歳以上の方は打ち切りということではなく、敬老の意を表す意味からも支給すべき。

賛成討論

101歳以上の方には厳しいが、改正すべきところは改正して時代に沿って新しい福祉に取り組み、福祉日本一を目指すべき。

会 議 結 果

平成27年 第4回 小城市議会定例会議決結果 (11月30日～12月18日)

議案番号	件 名	委員会付託	結 果	
議案第81号	平成27年度小城市一般会計補正予算（第4号）	—	可決（全員賛成）	
議案第82号	小城市長の専決処分事項の指定に関する条例	総	可決（全員賛成）	
議案第83号	小城市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	文	可決（賛成19：反対1）	
議案第84号	小城市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	総	可決（全員賛成）	
議案第85号	小城市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び小城市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例		可決（全員賛成）	
議案第86号	小城市男女共同参画審議会条例		可決（全員賛成）	
議案第87号	小城市地域公共交通会議条例		可決（全員賛成）	
議案第88号	小城市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例		可決（全員賛成）	
議案第89号	小城市税条例等の一部を改正する条例		可決（全員賛成）	
議案第90号	小城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例		可決（全員賛成）	
議案第91号	小城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		文	可決（全員賛成）
議案第92号	小城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例			可決（全員賛成）
議案第93号	小城市放課後児童健全育成事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例			可決（賛成19：反対1）
議案第94号	小城市牛津赤れんが館条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）		
議案第95号	小城市牛津会館条例の一部を改正する条例	可決（全員賛成）		
議案第96号	小城市勤労者福祉会館条例を廃止する条例	産	可決（全員賛成）	
議案第97号	小城市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	文	可決（賛成15：反対5）	
議案第98号	小城市廃棄物の減量推進、適正処理等に関する条例の一部を改正する条例	総	可決（全員賛成）	
議案第99号	小城市空家等の適切な管理及び活用の促進に関する条例	産	可決（全員賛成）	
議案第100号	小城市下水道条例の一部を改正する条例		可決（全員賛成）	
議案第101号	小城市営住宅条例の一部を改正する条例		可決（全員賛成）	
議案第102号	小城市生きがいデイサービスセンターの指定管理者の指定について	文	可決（全員賛成）	
議案第103号	小城市小城体育センター等の指定管理者の指定について		可決（全員賛成）	
議案第104号	小城市三日月保健福祉センターの指定管理者の指定について		可決（全員賛成）	
議案第105号	小城市牛津保健福祉センターの指定管理者の指定について		可決（全員賛成）	
議案第106号	平成27年度小城市一般会計補正予算（第5号）	総・文・産	可決（全員賛成）	
議案第107号	平成27年度小城市下水道特別会計補正予算（第3号）	産	可決（全員賛成）	
議案第108号	平成27年度小城市一般会計補正予算（第6号）	—	可決（全員賛成）	

付託委員会名 総…総務 文…文教厚生 産…産業建設 ……委員会付託なし

議案等の賛否一覧（全会一致以外のみ掲載）

中島正之議長は採決には加わりません

議案名	議員名	松並	永瀧	西	光岡	富永	諸泉	樋渡	中島	江島	深川	市丸	岸川	上瀧	香月	合瀬	松尾	堤	平野	下村	北島	大坪	
		陽一	和正	正博	実	正樹	定次	邦美	正樹	佐知子	高志	典夫	英樹	政登	チエミ	健一	義幸	克彦	泰造	仁司	文孝	徳廣	
議案第83号	小城市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第93号	小城市放課後児童健全育成事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第97号	小城市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

委員会報告

12月9日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会 (12月11日)

質問 小城市男女共同参画審議会条例について委員15名の男女比と関係団体の推薦とは。

答弁 男女均等に考えている。また関係団体とは区長会・地域婦人会・人権擁護委員・小中学校保護者・商工団体・農業団体・男女共同参画ネットワーク・子育て支援の方々を考えている。

質問 小城市廃棄物の減量推進、適正処理等に関する条例の一部を改正する条例について空地、空家がどのような状態を管理不良と見るのか。

答弁 雑草が茂っている宅地でごみの不法投棄や害虫の発生源になっていたり、犯罪、火災等の危険性が危惧される場合を想定している。また実態を調査して土地の管理者に改善するよう連絡する。



▲放置されている空地、空家

文教厚生常任委員会 (12月15日)

質問 小城市敬老祝金で101歳以上は支給しないとした改正条例を提案した背景は。

答弁 行政改革の事業評価を行う中で、課内で協議し、市長も交えて給付金については節目支給で100歳までとした。また、昨年まで9月1日現在で誕生日を迎えた方を対象としていたが、同学年で支給時期が異なることもあったので、支給基準日を3月31日とした。

質問 県内でも先走ってこのような改正を行うのか。対象者が楽しみにしているものを一気に切り捨てず、多久市のように100歳は3万円、101歳以上は1万円で高齢者が喜べる方策は取れなかったのか。

答弁 80歳、88歳、100歳のそれぞれの節目でご家族の方も改めて敬老のお祝いをしていただく機会になればと考えている。

※委員会審議の中で、小城市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例について、2人の委員から反対討論、2人の委員から「高齢者の生きがいづくりなどの事業に活かすべき」との条件での賛成討論があり、4対2で原案可決となった。



▲敬老祝金を支給する市長

産業建設常任委員会 (12月14日)

質問 「小城市空家等の適切な管理及び活用の促進に関する条例」について、第9条で必要最小限の措置、緊急安全措置を講じることができるとあるが、所有者がいなくときは、緊急安全措置に掛かった費用は市で負担するのか。

答弁 条例上では請求権はあるが、所有者が不明の場合も想定される。その場合は緊急性を重要視し対応するので場合によっては請求できないケースも出てくるかと思っている。

質問 特定空家について、調査とか施策の内容については、いつまでに決定して実行に移す計画なのか。

答弁 実態調査については、平成28年度から着手していく考えである。市の職員だけでは充分に迅速にできない部分もあるので専門の業者の支援を受けながら実施していきたい。所有者特定と意向調査まで含めて、平成28年度中に終えたいと考えている。



▲対応が急がれる空家



平野 泰造

小城市の教育について 英語力は

教育長

市内の中学生の英語力は高まっている

平野 グローバル社会への対応や、5年後の東京オリンピック開催に向け実践的な英語教育へと変わろうとしている。市内小中学生の現在の英語力と今後の英語教育は。

教育長

グローバル化で英語力をつけることは大変重要。毎年行われる県小中学学習状況調査と高校入試で県平均を大きく上回り相対的に市内中学の英語力は高まっている。

教育長

①総合的な学習の時間は、各校長のリーダーシップで、みずから課題を見つけ、学び、考え、問題解決に主体的、創造的、協同的に取り組み、自己の生き方ができるような学習に今後も取り組む。

取り組みは多くあるが、まず小学校の学び合い学習授業で英語力を高める。

平野

①総合的な学習時間の有効的な取り組みは。
②不登校について、現状と今後の取り組みは。

教育長

②平成26年度は、欠席30日以上が小学校で8名、中学校は38名。これからは一人の子どもも置き去りにしない教育、学校だけでなく関係機関の方々と連携を密にし、情報交換や地域社会の意識を高めることも大事。子どもに自分一人じゃないと気づかせる環境をつくりたい。



富永 正樹

特色ある教育を活かした 地方創生は

教育長

「さがを誇りに思う教育推進事業」の取り組みを始めている

富永 小城市の歴史上の人物を生かしたキャリア教育を通して、子どもたちのやる気を上げるために先人の業績にちなむ記念賞などを創り、意欲ある人材を発掘顕彰しては。

教育長

今年度から県教育委員会でも「さがを誇りに思う教育推進事業」に取り組んでいる。中小学校の総合的学習で地域の特性を生かした郷土理解教育を行って、郷土のよさに気づかせ、自分が住むまちを、ひいては小城市を誇りに思う心情を育てている。

富永

現在、全国でも学力が高い福井県では、地

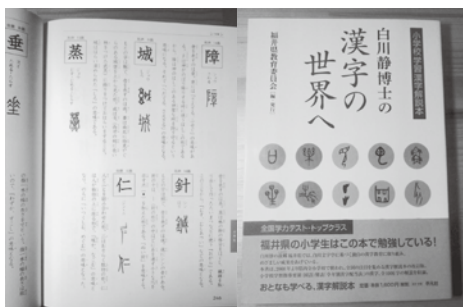
元出身の漢字学者である故白川静博士にちなみ、白川静賞を設け全国の漢字教育の質の向上を目指す目的で、ユニークな漢字教育を実践している全国の教員を表彰している。

その他の質問

- 市民病院の事業経営について
- 病児保育について

教育長

9回目を迎える「小城市書に親しむ日」のイベント



▲小学校学習漢字解説本・白川静博士の「漢字の世界へ」



永瀨 和正

国道203号バイパスの アクセス道路整備は

建設部長

必要な都市計画決定の
準備を進めていく

永瀨 国道203号バイパス佐賀唐津道路(小城三日月線)の都市計画に合わせた関連道路の整備計画が必要。

チェンジと接続する国道203号は、国に歩道の整備などをこれからも働きかけていく。

側歩道は、交通安全確保の観点から必要。

環境整備事業について

永瀨 農村環境整備事業は201件の申請がなされているが、補助事業等に対応できない146件が未着工。予算は平成24年度の4分の1で1千万円。農村環境をどうやって守るか。

産業部長 補助事業等での対応や補助金の増額要望をしている。市としても予算の増額を検討したい。



▲国道203号バイパス佐賀唐津道路(緑線)計画図

建設部長 都市計画の決定は、市全体の都市計画道路等を整理した上で県と協議する。両



上瀧 政登

平成28年度 予算編成の方針は

市長

メリハリのある編成を目指す

上瀧 大型事業がまだ残っている中で健全な財政の運営を図っていけるのか。

想、広域清掃センターの建設等の大型事業があるが、事業の実施に当たってはその効果を十分考慮する必要がある。また自

市長 合併して10年が経過し、行政機能も庁舎を一本化して市としての基盤ができてきた。国からの交付税が今後減っていく中で、歳入が不足した分は諸々の基金を活用し、歳出が激減しないように配慮する。今後の財政の見通しを年度ごとに立てる必要がある。予算の編成に際し、前年度の施策の評価を行い、重点事業を整理してメリハリのある予算編成を目指す。今後、西九州大学の誘致、アイル資源磨き構

主財源の確保については対策委員会を設けて収入の増を図っている。遊休資産についても売却や貸し付けを行っている。



▲予算編成にはその事業評価が必要 (評価風景)



香月チエミ

奨学金の返済制度の再検討が必要では

教育長

現行の規定の中で考えていきたい

香月 小城市育英資金の貸付けと未償還の状況は。

教育長 平成26年度末で約6,500万円の貸付け、未償還約990万円。

本人宛の文書での催促、連帯保証人への通知、訪

問による納入相談等対応している。

香月 相談等を通してどういう課題を感じるか。

教育総務課長 未償還の要因の大半は、就職で

ある。本人の所得にに応じた、無理のない返済制度の検討はできないか。

教育部長 現行の規定のなかで、返還が真に不可

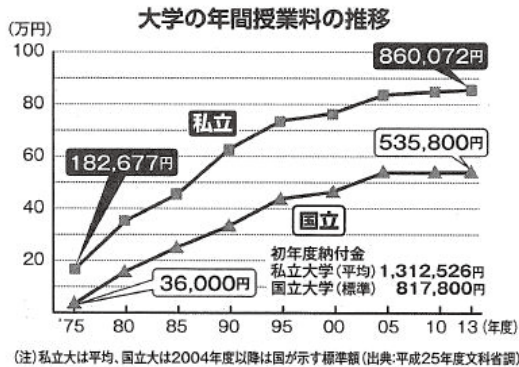
能か、育英学生や保護者の相談を受けながら、猶予や一部免除が妥当か考えていきたい。

香月 貸与から給付型の導入はできないか。

市長 現時点では難しい。

その他の質問

○豪雨災害等への対応について



▲年々増加する大学の授業料

香月 卒業しても十分な収入が得られず返済に苦労している現状が

西 公立幼稚園・保育園の現状について、定員数や園児数の推移や傾向については。建物については。

教育長 公立幼稚園には平成27年度は、263名が通園、25年度に比べ38名減少している。公立保育園には386名の園児がいる。25年度比で23名が増加している。保育のニーズが高まっていると感じている。公立幼稚園については、国が推奨している自由保育の良さをもっと広く知ってもらい園児数を増やす手



▲平成12年建築、築後15年経過の三日月幼稚園

立てと考えている。

教育部長 施設については、公立保育園4園は、昭和52年から平成2年にかけて建築、築後25年から38年経過している。公立幼稚園では、晴田幼稚園が昭和56年建築で、34年経過している。

西 8月の報道で不登校は増加傾向にあるとのこと。小城市内では。また、いじめが原因の理由はないか。

不登校児童・生徒の現状について

教育長 市では、とくに中学校において課題があると考えている。

学校教育課長 人数については、過去最高ではない。いじめによる理由の不登校はない。

その他の質問

○小城市における自殺対策の強化について

市立幼稚園・保育園の今後の方向性は

教育長

平成29年度までに民営化も含め再編計画を策定する

西 正博





岸川 英樹

まち・ひと・しごと戦略の考えは

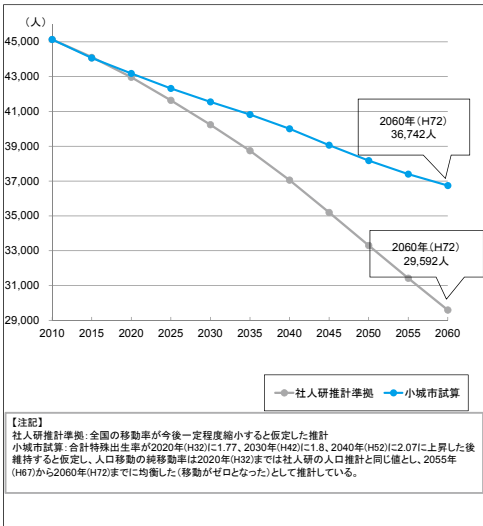
市長 今後5カ年の方向を定め、具体的な施策に取り組む

岸川 総合戦略で今年から5カ年の政策目標を立てて、具体的な施策はどう考えているのか。

市長 人口減少が進み、経済活動や集落機能の低下など地域の活力が失われていく中で、今までやってきたことを充実させながら、雇用や定住や出産、子育て、そして暮らしやすい地域づくりを行う。

岸川 目標数値は、既存の事業を上回る設定をしているが、達成はどうか。

企画政策課長 4つの目標ごとに、施策、指標を設定している。数値は国、



【出典】 地域経済分析システム「RESAS」人口マップ（国立社会保険・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成）を基に小城市試算

▲小城市将来人口の見通し

福祉部長 妊娠、出産、育児見聞までの切れ目のない
○アイル資源磨き構想について

岸川 結婚、出産や子育てに希望を持てる戦略は。

その他の質問

県の指標を参考にし、人口ビジョンを作成している。い支援として、相談に対応できる専用の窓口の設置や、専属の職員配置を検討したい。



松並 陽一

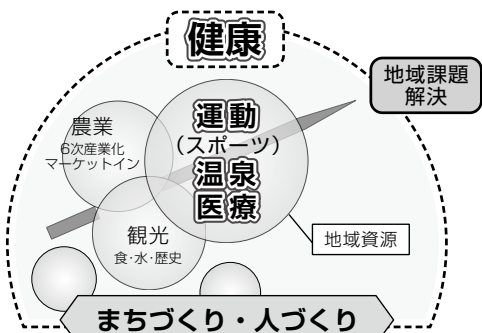
アイル資源磨きのスケジュールは

市長 任期の平成28年度中に予算などを示す

松並 リハビリなど医療サポート機能の整備、総合公園利用者も使えるシャワーやロッカー、またはスポーツ合宿所の整備などを行うのか。

市長 それらも含めて現在検討している。

松並 アイルについては平成28年4月から5年間、これまで同様に指定管理契約を予定されている中で、資源磨きについては新たな運用手法の導入も検討したいとのことだが、矛盾していないか。



▲アイル資源磨き構想の理念

市長 アイルの指定管理と資源磨き構想における運用手法については、必要がある。切り離して考える

主権者教育について

松並 小中学校において教員はどのように政治的中立を保つのか。

教育長 教員も一人の人間として自分の考えを伝え、それを押しつけることなく、子どもたちに判断させるべきである。

松並 小中学生の頃から自分の生活に直結する市政などにも関心を持つことが必要ではないか。

教育長 必要であるので、市としても主権者教育の方法を検討していく。



中島 正樹

アイル資源磨き構想の 予算規模は

市長

す 平成28年度中に基本計画で示

中島 今後のスケジュールは。

28年度中には基本計画を完成させる。

により資源磨き構想に支障は出ないのか。

企画政策課長 平成27年度中に地権者や周辺住民を含めた関係者による市民会議を開き、パブリックコメントを実施する。

中島 28年4月から5年間、アイルの指定管理契約を継続されるが、その間は保健福祉センターのままなのか。また、それ

副市長 これまで同様に保健福祉センターとして維持するが、資源磨きとしての改良や形態変更はできると考えている。

子育て支援について

中島 中学生まで入院費の助成はされているが、県内の複数の市町のように、通院費の助成もするべきではないか。

市長 県内で格差があることは問題であるという認識である。今後検討していく。



松尾 義幸

県道石木交差点の 全面的な改良を

市長

4月から暫定開通し、
渋滞を緩和する

松尾 県道小城牛津線の三日月町石木交差点は、朝の通勤帯は南北に車が渋滞している。改良工事が進められているが、まだ右折レーンの開設に至っていない。全面的な改良の工程は。

が実施中で、4月より暫定開通となり牛津方面からの渋滞緩和が期待される。本来左折レーンと直進レーンとすべきところを左折レーンとして開通する。

その他の質問

○ふるさと納税について
○アイル資源磨きについて



▲資源磨きの核の一つである、アイルの温泉

市長 東西の市道の部分は右折レーンがあるが、南北の県道は右折レーンがなく、朝夕は通勤車両により渋滞が起きています。これを解消すべく、佐賀県で交差点の改良工事が進められている。地籍図の修正や相統等の問題があり、鋭意交渉、調整中である。
交差点の南側について暫定開通する予定で工事



▲改良中の石木交差点



北島 文孝

大型事業の工期が遅れる理由は

市長

全国的な建設需給のひっ迫が原因ではないか

北島 小城町の交流プラザや牛津町の市営住宅の建設が大幅に遅れた理由は。

市長 資材の確保、労働者不足による専門職や労働者の確保に時間を要した。

北島 東日本大震災後、全国的な傾向は把握していたはず、それを加味して発注し、工期を決めるべきではなかったのか。

市長 受注者が適正な施工を行うため、内容に応じた工期の設定を行い、工事の進捗管理を厳格に行い、工期内に完成するように今後努める。

家庭菜園等に対する電気牧柵の補助は

北島

最近ワイヤーメッシュの設置によりイノシシの被害が家庭菜園等に被害が拡大している。指導対策はどうしているのか。

産業部長 電気牧柵は当初農業者のみであったが平成27年度より自家用菜園にも補助を拡大している。現在生産組合長に取りまとめを

お願いしているが、周知不足の所があり今後は市報やホームページ等を活用して周知徹底を図る。



▲電気牧柵の効果的な張り方（内側にノリ網を張る）



光岡 実

ポイ捨て禁止条例を制定する考えは

市長

現在の環境美化条例でポイ捨ても対応可能

光岡 道路周辺の環境美化と草刈作業時における危険排除の面から、ポイ捨て禁止条例の制定の考えはないのか。

れている。子どもたちにも教育の中でゴミを捨てないようにとか、不法投棄をしないようにしようとか教えているが、これはほとんど大人が捨ててい

る。環境美化条例は市民のモラルに訴え、認識してもらう条例であるので、今回新たにポイ捨て禁止条例を制定する考えはない。しかし、しっかりこの小城市環境美化条例で、ポイ捨ても含めて認識をしていただきたい。

その他の質問

- 小城市における自然災害の特徴とその防災・減災対策は
- 土砂災害防止法による区域指定に関する小城市の状況
- 太陽光パネル設置に対する小城市の対応

市長 合併前の小城町においては、このポイ捨て禁止条例は制定していたが、合併によってこの条例をもっと幅広く範囲を広げていくということ、小城市環境美化条例を制定した。市内の状況を見ると、特に交差点及び山間部にゴミが放置さ



▲跡を絶たないゴミの不法投棄



諸泉 定次

実習先病院の確保の見通しは

一番大きなハードルで、各病院に要請している

諸泉 西九州大学地域看護学部誘致では幾つもの課題がある。地元医師会との連携、実習先の確保はどのような見通しか。



▲西九州大学の完成予想図

市長 実習先病院の確保が一番大きなハードル。市と西九州大学のトップ同士で、各病院を回っている。議員の指摘の通り回れば回るほど、どの病院も実習病院としての受け入れ体制が手いっぱい。状況。時間はかかるが、とにかく何回でもお願いに回ることに尽きると思っている。

地元医師会や県内の医

師会とも連携を取ってお願いに行っている。

諸泉 県外者の学生の居住地確保をどうするか。寮の計画がないし、

学生マンションなど働きかけられているのか。県

外者を考えると福岡が多い。鳥栖市、佐賀市を通り過ぎて小城市に来る大学の魅力は。また小城市に住まなければ経済効果もない。失敗は許されない。

市長 定住政策では、小城市として独自の政策を出すべきと認識している。今後、在宅介護、在宅医療にシフトされた時に、4年制大学の看護学部卒で地元で定着するかなど大学と一緒に努力をしていきたい。

その他の質問

○市民病院のあり方について
○岩松支館建て替えについて



深川 高志

新公立病院改革プランとは

地域が必要な医療を提供する
経営改善策が必要

深川 市民病院では、平成25年から地方公営企業法の全部適用を実施し、病院事業管理者を設置、市民病院が掲げる存在意義、役割、目標を実現するため、改革プランに沿って、さまざまな改革を戦略的に実施されている。しかし、平成27年3月には新たな新公立病院改革プラン策定が求められているが、改革ガイドラインとはどのような構想なのか。

市長 病院が経営改善を行うための新公立病院改革プランを策定する上での指針であり、求められている事項が4項目ある。1、地域医療構想を踏ま

えた役割の明確化のために、病院の具体的将来像を明確にすること。2、病院経営安定のための具体的プラン策定。3、再編・ネットワーキ化を引き続き検討する。4、経営形態の見直しのために、民間経営手法も含めた経営方法の検討が求められている。今回のガイドラインに基づき、小城市市民病院の新しい

2、病院経営安定のための具体的プラン策定。
3、再編・ネットワーキ化を引き続き検討する。
4、経営形態の見直しのために、民間経営手法も含めた経営方法の検討が求められている。

1、地域医療構想を踏ま



▲さらなる改革が求められる小城市市民病院



堤 克彦

教育環境の充実は

教育長 是正事項については完了

堤 先生方が安心して教えやすい環境づくりが不可欠である。消火設備の劣化、建築基準法に基づく校舎などの劣化を国が指摘。県内15市町が問題ありと報道された。小城市の状況は。

て是正は完了。建築基準法に基づく県への建物の定期点検報告については、小城市の学校施設は報告の義務はない。

教育長 小城市も15市町に含まれている。消防点検における是正事項については、是正できるものはすぐに是正を行っており、各学校に確認。全



▲避難設備は安全第一

ドクターヘリの離着陸地の変更は

堤 小城市は、急病や事故時に医師や看護師を派遣するドクターヘリの離着陸指定地から市内の小中学校グラウンドを外す方針を固めた。代替地は。

市長 離着陸場について6か所のうち3か所が学校施設のグラウンドでありその離着陸の影響で、授業に支障を来している状況であることから、変更する方向で関係機関と協議を進行。現在2か所について、連絡調整中。



江島佐知子

必要な人に届く福祉を

市長 必要な人に必要な福祉を届ける

江島 ①ドクターヘリのヘリポート登録を学校施設から変更することに、進捗状況はどうなっているか。

② 高齢者の生きがいづくりのために、ボランティアポイント制度「サポティア事業」の対象枠を拡大すべきではないか。

③ 生活困窮者自立支援事業について、直営で運営することのメリット・デメリットと今後の方針は。

④ 福祉事業は、市民への周知をもっと工夫して、必要としている人に届くようにすべき。

市長 ① 3 学校施設を

別の2か所に変更するよう関係機関と協議を進めているが、緊急時には登録場所以外に着陸する場合もあり、学校施設も例外ではない。その点も含めて今年度中を目途に地元説明、広報をしていく。

② 現在、登録施設だけでポイント制度を活用できる。今後は介護予防事業などでも活用を検討する。

③ 定期的な人事異動があるというデメリットはあるが、相談が滞ることがないようにしている。各種行政手続きや関係機関との連携が速やかにできるというようなメリットもあるので現体制で今後も運営したい。

④ 効果的な情報発信をし、市民の相談に対応できる市役所にならないといけない。



▲市民に頼られる市役所を目指して

総務常任委員会

視察研修報告

(期間) 10月22日～23日
(目的及び視察地)

●集中豪雨時の対応・災害発生時の対策等について

(広島県広島市)

平成26年8月19日から20日にかけて広島市では未曾有の集中豪雨とその後の土石流の発生等で大変な被害が出た。地域防災計画通りに避難対策等は適切に行われていたのか、避難勧告の発令時期は計画に沿ったものであったのか、また今後、今回と同様な急激な気象の変化、深夜の災害発生に対応するためには、どのような避難対策を行うべきか等についてくわしく検証されていた。今後の対策に十分に生かされることを望むものではあ



るが、自然災害はいつ、どこで発生するか判らない場合が多い。小城市においても天山から有明海まで豊かな自然に恵まれているが災害も多い。未然に防ぐ為の対応、災害が起こる前のすばやい行動、減災のための行動、発生した後の対応等について平日頃の確認で対策を立てることが重要であると感じた。

文教厚生常任委員会

視察研修報告

(期間) 10月27日～28日
(目的及び視察地)

●介護保険いきいきポイント制度

(岡山県倉敷市)

倉敷市は48万人の人口で、毎年増加している。この制度は、現在2期目の女性市長が市単独で行っている介護保険事業の一環として取り組んでいる。平成23年度より始め、ボランティアをやるごとに加算され上限は5千ポイント。1回で1ポイントで1円。上限で5千円に換金でき、交通費見合

い分と位置づけられている。平成26年度は603人の登録で、千人が目標。介護施設等で話し相手や清掃やイベントの手伝いのボランティア。課題は、各集落等の活動範囲の拡大と感



(期間) 10月27日～28日
(目的及び視察地)

●児童発達支援センター

(岡山県玉野市)

玉野市の人口は6万2千人。平成24年4月に郊外の施設の一部を改装して3年目。発達障がい児や身体障がい児などの幼児や放課後支援として小学6年生まで受け入れ、支援員22名。定員20名に自閉症の子など現在22名の入園と放課後支援に10名の子どもたちが通っている。

市のやる気と保護者の支援で、施設は決して新しくはないが、子どもを見守る熱意に感動した。

産業建設常任委員会

視察研修報告

(期間) 11月5日～6日
(目的及び視察地)

●「フードバレー八代」の取り組みについて

(熊本県八代市)

八代市において、農林水産業及び食品関連企業の調査、開発、製造並びに物流、販売等の全ステージを支援できる体制づくりを行い、世界に通じる「八代ブランド」の創出に向けて地域が取り組むべき方向性を示した「八代フードバレー基本戦略構想」について

学んだ。「食」に関するあらゆる産業の活性化を目指すものであり、4つの大きな基本戦略が掲げられている。
1. 地域のブランドづくり
2. 八代の個性と魅力を発揮できる力の拠点づくり
3. 流通を拡大する



販路づくり
4. フードバレー八代を
実践する体制づくり
以上のことを基本として、市役所にも担当課を設置し、総合窓口機能を担いコーディネーターの役割を果たし、情報共有、意識共有と実働体制の連携が図られる体制づくりができており、企業、行政における連携の取り方等について参考とするところが多くあった。

議会運営委員会 視察研修報告

(期間) 11月11日～13日
(目的及び視察地)

●議会改革及び政治論理
条例について

(京都府亀岡市)
(京都府京田辺市)

亀岡市議会は全国でも議会公開度、住民参加度、運営改善度の議会改革度は13位と素晴らしい改革をされている。

近年では事務事業評価の実施、会議へのパソコン等持込許可、文書質問、政策研究会制度、フェイブックの活用、子ども議会の開催など改革され、市民とともに歩む改革へ常に挑戦し進化されていた。

京田辺市議会は、議会改革条例を平成26年9月に制定している。特徴として議員は議会が言論の場であることを認識し、自由な討議を尊重されている。議会広報の充実では、特に議会の傍聴者へ



の資料の提供（決算の資料等）で傍聴意欲を高められている。
議員と市長との関係では、市長に発言の趣旨について確認のための反問する機会を与えている。
この研修を終えて議会改革の内容についても、議会報告会等の住民参加度や公開度を上げる必要を感じた。

広報編集特別委員会 視察研修報告

(期間) 11月9日～10日
(目的及び視察地)

●議会広報について

(鹿児島県霧島市)
(鹿児島県いちき串木野市)

霧島市は「議会だより編集特別委員会」より格上げされた「広報広聴常任委員会」になっており、委員の構成は、総務文教、環境福祉、産業建設に、議会運営委員会を加え、各2名の計8名で運営されていた。

オールカラー刷りで、レイアウトも工夫されて、わかりやすい紙面づくりがなされ、一般質問のところでは、質問議員の顔写真の下にQRコードがついており、動画で視聴できる仕組みになっていた。表紙にはフォトコンテスト入選作品の写真を採用、市民参加型という姿勢がみえる編集であった。
また、毎号、時宜にか

なった特集記事が組まれ、常任委員会報告も「委員会レポート」というページ設定で読み手の興味を引く編集になっていた。中でも委員会活動の中において、当市も参考にしなければと感じたことは、「議会報告会」を、さまざまの団体・グループ・個人から意見を聴くかたちでの「公聴」というスタンスにシフトし、「市民に開かれた議会」をめざし「議員と語ろかい」へ変え、取り組まれていたことだった。
開催場所についても、市内をくまなく巡回するよう毎回、開催場所の検討もされ、定例会ごと8か所で行っているとの報告だった。

2日目のいちき串木野市は霧島市と同じく、年5回の発行で、1月の新年号をして、議長と市議会



平成27年
小城市へ行政視察(受入)一覧

視察日	委員会	視察来庁	視察内容
平成27年 8月5日	議会活性化特別委員会	大分県 宇佐市	議会広報
平成27年 7月22日	会派 新生おおの 会派 立志会	福井県 大野市	ふるさと納税
平成27年 7月17日	自由市民会派	大阪府 貝塚市	ふるさと納税
平成27年 7月8日	総務文教委員会	鹿児島県 西之表市	ふるさと納税
平成27年 2月10日	創政会、研政会	長崎県 五島市	学校ICT
平成27年 2月3日	会派	茨城県 筑西市	ふるさと納税 買い物支援制度
平成27年 1月28日	会派	岡山県 笠岡市	買い物支援制度
視察日	委員会	視察来庁	視察内容
平成27年 11月17日	会派 公明党	東京都 西東京市	小城市生涯学習センター「ドゥイン グ三日月」
平成27年 11月11日	産業経済常任委員会	岩手県 奥州市	ふるさと納税
平成27年 10月29日	行政調査特別委員会 第1班	栃木県 日光市	ふるさと納税
平成27年 10月20日	総務生活常任委員会	福島県 伊達市	ふるさと納税
平成27年 10月19日	会派 創生会	石川県 加賀市	ふるさと納税
平成27年 10月14日	会派	広島県 福山市	小城市児童センター 「ゆうゆう」
平成27年 10月14日	総務委員会	長野県 安曇野市	ふるさと納税

議員活動あれこれ



天山祈願祭
(10月3日)



第6回 小城市福祉大会
福くまつり
(10月17日)



第11回
小城市少年少女の声大会
(11月28日)



消防出初式
(1月10日)

お知らせ

第1回定例会(予定)のお知らせ

3月1日(火)	定例会 《開会》	10日(木)	議案質疑
3日(木)	一般質問	14日(月)	常任委員会
4日(金)	一般質問	16日(水)	常任委員会
7日(月)	一般質問	17日(木)	常任委員会
8日(火)	一般質問	22日(火)	討論・採決《閉会》
9日(水)	議案質疑	(* 日程など都合により変更 になる場合もあります。)	

表紙の紹介

海外飛香対幅(中林梧竹)
(市指定文化財、平成二年三月指定、梧竹記念館蔵)

八十歳代の書。字句は「星巖公語
海外飛香 梧竹」と雄渾な筆使いで書
かれ、「飛香」の二字は、書き出しがど
こからかにわかに判じ難いが、よく視
ていくと「香」字の三画目と「飛」字
の堅画とをくっつけ、下から筆を進め
ていることがわかる。よほどの修練を
積み重ねたこのような芸当はできない。
因みに、星巖公とは小城藩二代藩主鍋
島直能の戒名の頭につけられた号であ
る。

行政視察(受入)一覧

議員活動あれこれ

お知らせ

表紙の紹介

地域の学び舎

小城市立

はる た

晴田小学校

創立 明治7年(1874)9月

児童生徒数 350名(男子163名、女子187名)

学校教育目標

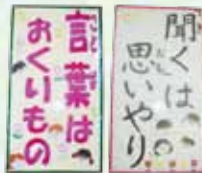
ありがとうの言葉がとびかう
学校づくり

目指す子ども像

進んで学ぶ子
思いやりのある子
自他を大切にする子

校訓(晴田小の合い言葉)

- 『聞くは思いやり
言葉はおくりもの』
20年程も前から体育館に掲示されています



◎集会活動



◎青少健との
稲刈り



◎たてわり班活動(遠足)



晴田小学校 校歌

一、めぐみゆたけき筑紫野の
小城の里なる 晴気谷
あかるく育つ 児童の
学舎ここに 厳とたつ

二、優に雄々しき 天山の
高き理想を 心とし
流れも清き 谷川の
たゆまぬ努力 おこたらず

三、新しき代の息吹きもて
遠つ祖先より うけつぎし
尊き伝統 いかしつ
正しき文化 つちかわむ
楽しき晴田 うちたてむ



学校・地域の特色や特長

- 元気な晴田っ子です。毎朝始業前、たくさんの子どもたちが運動場で遊びます。
- 人権教室・人権集会を毎月実施し、互いを認め合い、自尊感情を高める教育を展開しています。
- いろいろな集会の最後には、参加しての感想や意見を全校児童の前で発表する「感想交流」をもちますが、たくさん子どもたちが手を上げて発表します。
- 運動会は、「晴田小校区大運動会」として、地域と一緒に開催しています。
- 青少年健全育成会との連携は充実しており、たくさんの地域の方に見守っていただいている学校です。
- 晴田小人権フェスタ(親子で命の大切さや人権・平和の尊さについて考えます。)
- みんなの誕生日(誕生日を全校集会で祝い、ひとり一人の存在の大切さを学校全体で共有します。)
- たてわり班活動(掃除、遊び、スポーツ大会、遠足などを、異学年グループで行います。)
- 青少健との土曜教室(毎月第2土曜日に地域の方のお世話で、様々な体験活動に取り組みます。)

編集後記

あけましておめでとう
ございます。

皆様にとってどんな正月
でしたでしょうか。

時が流れるのは早いもので、もう2月となりましたが、暖冬の影響があちこちで出ているようです。この時期、地球温暖化を身近に感じるのは、ここ近年積雪の回数、量が確実に減少してきます。ひと冬に1回ぐらいいは一面の銀世界を体験したいと思っていいたら、先月の24日、25日は大変な大雪と寒波。自然界の神秘と怖さを改めて感じました。

ところで、議会だよりもこのメンバーでの編集は最後となりました。次号からは、新しいメンバーでの編集となります。今後とも、ご愛読よろしくお願致します。

(光)

委員長 富永 正樹
副委員長 光岡 実
委員 江島佐知子
西 正博
永 和正
松並 陽一